

3類型	農林水産物、鉱工業品	通巻番号	3-19-054
地域資源名	静岡茶、駿河湾海洋深層水	認定日	平成20年3月6日
地域	静岡県静岡市ほか	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名：微粉末茶と駿河湾海洋深層水活用による高濃度液体茶の開発

会社名：有限会社平成エンジニアリング

所在地：静岡県静岡市葵区東鷹匠町16-6

連絡先：TEL：054-209-5154

HP：

FAX：054-636-0013

事業概要(新たな活用の視点)

・本事業では、未利用資源となっている静岡茶(三・四番茶)と表層水とは異なる「低温安定性」・「清浄性」・「高栄養性」等の特性を持つ駿河湾海洋深層水を活用し、高濃度液体茶を開発する。本事業により、低価格帯茶(三・四番茶)の安定的な需要を創出し、これまで安価な輸入茶と競合するため生じていた需要の不安定さ解消するとともに、茶の栽培農家をはじめとする地域経済の活性化に貢献する。



売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

・新商品は、当社独自の液体化加工方法により開発する高濃度液体茶である。本商品は、「茶殻が出ない」「簡単に溶解する」「緑茶に含まれる多くの栄養素を丸ごと摂取することができる」といった特徴を有し、使用者側の利便性が高い。これにより、多用途の可能性のある新商品を開発する。



◆市場性

・近年、消費者の健康志向や簡便性志向の高まりを背景に、ペットボトル緑茶飲料は増加傾向にある。他方、消費者の“水”に対する意識や利用状況は、近年のミネラルウォーター類の需要の高まりなどに象徴されるように大きな変化を遂げており、ミネラルウォーター類の需要は急速な高まりをみせている。本事業で開発する新商品(高濃度液体茶)は、このような消費者ニーズに合致するものである。

◆販路

・新商品の機能性、認知度の向上を図るため、給茶機メーカーと連携して業務用としての商品化を図り、飲食店、学校、病院、介護施設等への販路を拡大していく。

地域資源における関係事業者との連携

・安心、安全な商品を提供する技術力を確保するため、静岡県工業技術研究所等との連携を図る。また、茶産地の活性化と安定した原材料を調達するため、牧之原市、藤枝市及び岡部町の茶の栽培農家及び駿河湾海洋深層水を運営する焼津市と連携を図る。